

季刊 えぬさぽ

Vol.28



(特活)NPO サポート・しみず会報

発行日：2021年1月22日

発行：(特活)NPO サポート・しみず

〒424-0943

静岡市清水区港町二丁目 1-1

TEL.054-340-1012

mail:n-support@shimizu-s-center.org

経験したことのない新たな脅威に翻弄された 1 年が終わりました。年が改まってもトンネルの出口はまだ見えませんが、前を向いて進みましょう。

自主企画 講座「瞬間ボランティアってなんだ？」を実施

12月5日、奈穂先生が「ほうき」を引っ提げやってきた！

静岡県の防犯講座等でお付き合いのある清永奈穂先生が提唱する「瞬間ボランティア」。木村理事の企画提案により学びの機会が実現しました。

自主事業の良さは自由度の高いところ。講師との日程調整と会場の確保ができて「GO!」、というハイペースで話は進みました。

とはいえ、感染症の脅威の下、東京から講師を迎え講座をおこなうので、定員を抑え市民活動センターと瞬間ボランティアってなに？

困っている人を見かけたときに、咄嗟に行動する人助けが瞬間ボランティア。

人と人のつながりが希薄になりがちな昨今、できそうでできないことかもしれません。

奈穂先生によれば、コロナ禍で引きこもりがちな生活が一般化したことで一層地域の困りごとに目が届

の共催により十分なスペースを確保するなど従来とは違った面での配慮は必須でした。

市民活動センターは準備の時点では県外からの講師も受入可となっていました。所轄から急に「いっかん！」と言われることも想定の範囲にありました。

当日、こちらの心配をよそに、奈穂先生はお手伝いスタッフを伴って意気揚々と竹ぼうきを持って登場しました。(…これで新幹線に乗ってきたのか!?)

かなくなり、暴力や犯罪も増加傾向にあるとのことでした。

今年度は、静岡県の防犯まちづくり講座も全県を対象としたリモート講義のみとなったため委託はなくなりましたが、構想として温めてきた「瞬間ボランティア講座」を実施することができました。



どうする？「竹ぼうき！」

講義後のワークは、グループ別のロールプレイ。アヤシイ人、困っている人、助ける人と役割を決め、瞬間ボランティアの方法を考えました。

「部活帰りの女子高生たちがテニスラケットを使ってアヤシイ人を撃退する」という場面で、奈穂先生登場。「ラケットよりこっちの方が長くていいでしょ」と竹ぼうきの活用を提案。



(確かに長くて役に立つが、竹ぼうきを持ち歩くか？いやいや東京からわざわざ持ってきたのだから言わんとこ)

参加者全員迫真の演技で終了。爆笑に次ぐ爆笑でしたが、『瞬間ボランティア』くれぐれもお忘れなく!!

予定変更連続の1年

極力書面による表決をお願いした定期総会、例年受託していた事業の実施スタイルの変更、契約した事業の停滞など、いつもとは違う1年となりました。自主講座が無事に実施できたのは極めてラッキーだったと言えます。半面、多くの制約の中で会議や講座の受講をリモートでおこなう契機にもなり、より広い範囲の情報収集やネットワークの拡充ができた年でもありました。

清水市民活動センター 第5期指定管理者に選定

2020年12月1日におこなわれた市民活動センター指定管理者選考のためのプレゼンテーションに参加し、その後、静岡市長から、清水市民活動センター第5期指定管理者の候補者として選定された書面が届きました。正式には2月市議会の議決を待つこととなりますが、すでにセンタースタッフを中心に次年度の事業計画の検討、体制作りの準備が始まっています。(※指定管理期間 令和3年4月～令和8年3月の5年間)

静岡市市民活動センターにおける指定管理者の候補者選定に関わる審査結果について(通知文)

- ・社会情勢を踏まえた市民活動の現状分析ができており、分析に基づいた事業計画は今後の団体支援に高い期待が持てる。
- ・清水七夕まつり実行委員会への共催協力、清水港や三保の松原といった地域の文化・歴史に密着した活動をおこなう団体へのサポートなど、地域性を踏まえた

事業計画が立てられている。

- ・特定非営利活動法人 NPO サポート・しみずは平成22年から当該施設の指定管理業務を受託していることから、提示された事業計画はこれまでの実績・経験に基づいた適切なものであり、事業実施の実現性が高いと評価した。

第5期指定管理期間の課題と展望

私たちがこの間運営してきた事や提案した事業計画は評価していただきましたが、これを継承発展させるにはいくつもの課題があります。この1年、市民活動センターを利用している団体からも、コロナ禍により活動の停止・自粛などで従来の団体活動ができなくなったという声を聞きました。この状況からスタートする第5期指定管理は、中間支援をおこなう施設の運営者として真価を問われる期間となることでしょう。

第2期以降指定管理者としてすでに10年が経過した今も、運営に携わる会員の大幅な交代はできていません。若手スタッフはすいぶんと頑張り成長していますが、今後5カ年のセンター委託業務を全うするためには、センター若手スタッフの一層のスキルアップが必要です。

また、現在静岡市には市民活動センターが2つあります。第5期は従来通りの形の公募となりましたが、2センターの統合や一元管理についての話は消えたわけではありません。今後も、2か所ある施設が協力し

合って静岡市の市民活動の活性化に貢献していることが伝わらなければ、統廃合の話は必至と言えます。

1998年NPO法が成立し、多くの法人が設立され一般のNPOも含め活発な市民活動を展開してきました。22年余が経過し、課題を抱えている団体は少なくありません。一方、コロナ禍の状況で、生活困窮者が増加し、社会課題の増加・複雑化が進んでいますが、それに応える事業展開を進める団体もたくさん出て来ています。

昨年、NPOサポート・しみずとして5カ年の中期基本計画を策定。今までの成果を確認と課題の整理をおこない、方向性と計画を決定しました。センター事業もこれに基づいて進めていきます。

市民活動センターは、ネットワークを一層拡充しながら、若手スタッフの積極性を活かした新しい手法で事業に取り組み、静岡市の市民活動の活性化と、暮らしやすいまちづくりを進めていきます。

フードドライブまもなく終了

食品提供のおねがい

コロナ禍で職を失った、生活が厳しいといった理由で、フードバンクの支援を求める方が増え続けています。

ご家庭内に、買いすぎて余ってしまった食料や贈答品はありませんか？ぜひご協力ください。

期間 1月4日～1月31日 回収ボックスは、清水市民活動センターに入口にあります。

生鮮食品、アルコールを含む食品を除き、賞味期限まで2カ月以上ある未開封品に限ります。



food bank FUJINOKUNI
フードバンクふじのくに
「もったいない」から「ありがとう」へ

